

月信

2025
4月号
vol.10



GOVERNOR'S MONTHLY COMMUNICATION

2024~2025年度 国際ロータリーテーマ
**ロータリーは、あなたと私が
出会うところ。
そして、次の世代に何をわたせるか
共に考え行動しましょう！**
2024~2025年度 第2600地区標語



CONTENTS

ガバナーのあいさつ 白鳥敬日瑚	1
活動報告	2~5
クラブのご紹介	6
ロータリー財団・米山記念奨学金への寄付	6
新入会員のご紹介	6

写真はフリー素材より

R I 会長 / ステファニーA・アーチック

R I 理事 / 水野 功 (東京飛火野RC)

ガバナー / 白鳥敬日瑚 (佐久コスモスRC)



ガバナーからのメッセージ

国際ロータリー第2600地区
2024-2025年度

ガバナー 白鳥敬日瑚

ロータリーは長年にわたり、平和な社会を築くためにさまざまな活動を続けてきました。その根底にあるのは「奉仕の理念」という普遍的な価値観です。異なる文化や価値観を持つ人々が手を取り合い、地域社会のため、そして世界の平和のために尽くす姿には、まさに「The Magic of Rotary」が宿っています。

この「Magic (奇跡)」という言葉を目にすると、私は亡き父の運命に思いを馳せずにはいられません。1945年、広島に原爆が投下される1週間前、父・白鳥文彦は他の地域に移動していたため、九死に一生を得ました。もし父が広島に留まっていたら、私は今ここにいなかったかもしれません。ひとの運命とはまさに「Magic」そのものです。

父は旧制上田中学時代、学徒動員により海軍航空隊に所属していました。当時の若者たちは、自らの意思とは関係なく戦争に巻き込まれ、命の選択権さえも奪われていました。戦争は人間の尊

厳を踏みにじり、多くの若き命が失われた悲しい歴史です。だからこそ、私たちは平和の尊さを語り継ぎ、次世代に伝えていかねばなりません。

ロータリーは、異文化理解や国際協力を通じて、平和を築く活動を続けています。特に青少年交換プログラムや平和フェローシップのように、若者たちが世界を知り、互いを理解し合う機会を提供することは、持続可能な平和の礎となります。そこには、未来に希望を託す「Magic」があると私は信じています。

「The Magic of Rotary」という言葉には、人々が奉仕を通じて絆を深め、困難を乗り越えながら平和を実現していく力が込められています。私たち一人ひとりの行動が、その「Magic」を生み出す源泉です。

父の運命が示した奇跡の連鎖を思うとき、私は今ここに生きている意味を深く考えさせられます。父はその後代議士の秘書や地域のリーダーを歴任して貢献しておりました。私は意思を継ぎ、今はロータリアンとして、平和な社会を築くための一歩を踏み出すことこそが、未来への責任であり、希望なのです。

今後もロータリーの精神を胸に、次世代に平和の大切さを伝えながら、地域社会に貢献していきたいと思えます。共に「The Magic of Rotary」を信じ、その輪を広げてまいりましょう。



活動報告

◆インターアクト冬合宿（兼 国際交流研修セミナー） 1/12

インターアクト委員長 小池 晃（信州友愛RC）

2025年1月12日に「2600地区インターアクト冬合宿（国際交流研修セミナー）」を開催いたしました。当地区では、インターアクトクラブ（以下IACと略す）の会員が少ないクラブもあるため、多くの会員が集まり自己研鑽できる場を、地区委員会として提供しています。

今年度は、『21世紀を生き抜く君たちへ』と題し、全国で講演活動をされている地区委員の井上修様（伊那中央RC）より、人として大切なこと、家族・地域・日本を愛するとはどういうことなのか？生徒にとって気がついてほしいことをお話し頂きました。誰一人として下を向くことなく、目を輝かせて聴講していた姿に感動いたしました。



また午後は、学友委員会の大森委員長並びに国際奉仕委員会の乾委員長よりお話し頂き、また2600地区グローバル補助金奨学生3名を招聘して、「海外の大学院をでて国連を目指す・海外で芸術を学ぶ意義・スポーツを通じた平和と開発（ジンバブエよりzoom参加）」お話し頂きました。海外で学ぶ意義やその魅力、多くの方にお世話になったことなど、人生において経験することの大事さを話して頂き、

終了後には生徒たちが集まり質問タイムになっていました。

最後になりましたが、ロータリアンの皆さんが日頃から寄付していただいている財団の資金が、このような形で還元されてくることに感謝申し上げます。運営並びに参加していただいたロータリアン、学校関係者に深く感謝を申し上げて、ご報告とさせていただきます。



◆地区・クラブ合同職業奉仕委員会 1/25

地区職業奉仕副委員長 寺島 秀則（上田西RC）



品田宗久地区職業奉仕委員長（南佐久RC）のもと1月25日浅間温泉ホテル玉之湯にて、地区職業奉仕委員会・各クラブ職業奉仕委員会メンバーに加え小林磨史ガバナーエレクトに出席いただき、表記委員会が開催されました。議題は①「11月24日開催『職業奉仕セミナー』を受けロータリーの今後の在り方」 ②「クラブの職業奉仕」とし活発な議論が交わされました。

過去4回地区職業奉仕セミナーでは「ロータリーから信州を元気に」をテーマに阿部守一長野県知事、藤原忠彦元川上村長、金子ゆかり諏訪市長等の地方行政リーダーの方々、行政に提言する立場の小宮山宏プラチナネットワーク会長、神野直彦東大名誉教授をお招きし、ロータリアンは地域を元気にするために何が求められているかを探ってまいりました。前回までの議論で浮かびあがったテーマは「子供たちの心と体の健康」。5回目となる本年度のセミナーでは武田育夫長野県教育長をお招きし、子供たちの明るい未来のために職業人としての役割について議論がなされました。

コロナ下でもオフラインミーティングが続けられてきた地区職業奉仕委員会では今回も含め、「職業奉仕」の理念や実践について、参加者それぞれの立場で発言しつつ、参加したロータリアンそれぞれの考えを深める機会になっております。「職業奉仕」について議論を重ねることの価値を再認識する委員会となりました。



活動報告

◆東信第一グループ、第二グループIM・会員セミナー 2/15

東信第二グループガバナー補佐 久保田 修二（上田西RC）

東信第一G、第二GのIM・会員セミナーが2月15日（土）上田東急REIホテルで白鳥ガバナーをお迎えし、開催されました。PGの島田様、原様、成田様をはじめ大勢のロータリアンの皆様にご参加して頂きましたことに深く感謝いたします。



第一部の会員セミナーでは「これからのロータリー」というテーマで成田PGをコーディネーターに、上田西クラブのベテランの西田さんをはじめ、中堅、若手の女性を含むメンバーによるパネルディスカッションを行いました。それぞれのお立場での自由闊達なご意見の中で、これからのロータリーのあり方を示唆するヒントがいくつもちりばめられた有意義なセミナーとなりました。

第二部は飯島町出身で「妻のトリセツ」などの著書で知られ、人工知能（AI）研究者の黒川伊保子先生の基調講演「家族のトリセツ～家族をつなぎ、心を育む脳科学」というテーマで夫婦間、親子間でのコミュニケーションの取り方を脳の構造、脳の使い方の違いから生じる対話によるストレスを説明しながら、具体的な受け止め方や防ぎ方等を分かりやすくお話頂き、ご参加頂いた130名余の一般聴衆の方々と共に共感できた時間でした。

第三部は東京でテノールのソロ歌手として活躍中の今福充様、ピアニスト柳沢光彦様によるカンツォーネで会場を魅了して頂きました。

今回はロータリーの会員の研鑽と親睦を深める機会としてのIM・会員セミナーであるとともに公共イメージの向上ということで基調講演を一般公開にいたしました。まずロータリーを知って頂くということには一定の成果を残せたのではないかと考えております。最後にご協力を頂きました関係各位、東信第一Gの夏川ガバナー補佐、ホストクラブの千曲川IRCの方々、そして大井実行委員長と実行委員会の皆様に深く感謝いたします。

◆次期地区チーム研修セミナー 3/1

次期地区副幹事 新保 裕介（松本南RC）

国際ロータリー第2600地区の「次期地区チーム研修セミナー」（地区研修・協議会のための地区指導者打ち合わせ会）が3月1日（土）、松本市深志3の深志神社梅風閣で開かれました。小林磨史ガバナーエレクトがガバナーとなって舵取りを担う2025-2026年度のスタートが近づく中、第2600地区の現状と課題を確認し、新しい地区方針を共有する意義深い研修となりました。



県内各地から約90人のロータリアンが集まりました。白鳥敬日胡ガバナーの点鐘でセミナーが始まり、まず古川静男パストガバナーが次期地区研修ファシリテーターとしてセミナーの趣旨説明を行いました。

続いて小林ガバナーエレクトが地区方針について講演しました。2月に米国フロリダ州オーランドで開催された国際協議会に参加した体験を熱い口調で語り、2025-26年度RI会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏のメッセージ「よいことのために手を取り合おう」を紹介しました。その上で地区運営方針として「つなごう未来へ 信濃の国の物語」を掲げ、「居心地の良い元気なクラブをつくろう」などの重点活動目標を提示しました。

その後は分科会に移行し、ロータリアンたちが「会員増強」や「青少年奉仕」「ロータリー財団」など7つのグループに分かれて地区方針に対するそれぞれの対応を協議しました。セミナー修了後は懇親会となり、和やかな雰囲気の中でロータリアン同士の交歓が展開されました。

活動報告

◆諏訪グループIM・会員セミナー 2/16

IM実行委員長 熊澤 祥吉 (岡谷エコー RC)

2月16日(日) 岡谷市ライフプラザマリオにて早出一真岡谷市長、白鳥敬日瑚ガバナーをお迎えし開催いたしました。多くのロータリアンの参加をいただき感謝申し上げます。

テーマは地区運営方針、ロータリーは、あなたと私が出会うところ。次の世代に何をわたせるかに基づき「共に生きる・共に輝く・共生社会を考える」としました。

会員セミナーは2020年に発行された「日本のロータリー 100周年ビジョンレポート」の執筆者のひとりRID2840(群馬) 本田博己パストガバナーに前橋RCまで出向いて依頼。新しい時代のロータリアンと職業奉仕について考えるとして「奉仕の理念と相互扶助の精神」と題しロータリアンとしての基本理念を格調高く話されました。



記念講演は一昨年自らがトランスジェンダーである事をカミングアウトした橋本愛樹さんに、マジシャンとして生きる決意や職業を通じた普段の生活、経営にマジックを生かす方法などをマジシャンならではの映像と話術で講演。LGBTQ(性的マイノリティ)の人口比は10～13人に1人の時代、D・E・Iについても今後更なる理解と学びが必要と訴えました。そして懇親会では魔法使いアキットとしてマジックを披露！人体浮遊マジックで会場を盛り上げました。



我がクラブも創立35年を迎えました。「地球のために何かをしたい」のテーマのもと誰でもが共に生き、共に輝く新たな奉仕活動へと繋がる機会となれば幸いです。



◆本田博己PG講演 2/16

諏訪グループガバナー補佐 山崎 廣和 (岡谷エコー RC)

会員セミナーでは2840地区(群馬)の本田パストガバナーに講演をお願いしました。実は、昨年1月のロータリーの友に職業奉仕のことを掲載されており、私にとっては大変興味のある内容でした。そして、実際にお会いをしてお話を聞かせて頂き、おおいに感銘を受け、会員セミナーの講演依頼のご承諾をして頂きました。

今回の講演のテーマは、奉仕の理念と相互扶助の精神「ロータリアンと職業奉仕について考える」であります。講演で話されていたことは、これまで日本で語られてきた職業奉仕は、「奉仕の理念も職業への適用」という言葉で表すことが出来ます。職業奉仕という言葉ではなく、世界共通の「奉仕の理念(奉仕の理想)」という言葉で、ロータリーの理念についての議論を深めていこう、というのが、私の考えです。理想のロータリアンとは、個人生活・職業生活・社会生活など人生のすべての面で、「奉仕の理念」の学びと研鑽、そして実践する人である、と言えます。ロータリーの「奉仕」は単なる活動ではなく、「奉仕の理念」の実践(理念に基づいた活動)であるべきです。「奉仕の理念」の実践を世界に広めてゆくことこそが、ロータリーの可能性を広げる唯一の道と言っても過言ではないと思います。50年後、100年後の未来世代にとって、私たちは「よき祖先」たりうるかを自問しながら、「奉仕の理念」の普及と実践に向かってゆくではありませんか！と話されていました。



私も自分自身の職業のスキルを通じて社会貢献をしていきたいと強く思った次第です。ロータリアンの皆様にも奉仕の理念や職業奉仕について考えて頂ける良い機会になったと思います。本田パストガバナーには貴重なお話をさせて頂き心より感謝申し上げます。



活動報告

◆下伊那グループIM・会員セミナー 3/9

下伊那グループガバナー補佐 橋上 信久（飯田南RC）

去る3月9日の日曜日に、飯田南ロータリークラブがホストとして、今年度地区ガバナーの白鳥敬日瑚氏を基調講演者に迎え、下伊那グループのIMを飯田文化会館に於いて開催させて頂きました。今回のIM開催をするにあたり、私達ホストクラブでは、企画の段階から、ここ最近のIMにおけるマンネリ感を打破し、思い切った新たな試みによってインパクトのある集まりにしようという総意と



として、本年度白鳥ガバナーの掲げられている、「ロータリーは、あなたと私が出会うところ、そして、次の世代に何をわたせるか、共に考え行動しましょう」というところからヒントを得て、一番記憶の中にインパクトを与えられるといわれる年代の青少年達と、その親世代の方々に広く我々の存在をアピールする絶好の機会と捉え、過去のIMとは全く異なった一般参加型のより外に向けてのIMを開催させて頂きました。従来型の開催の意義からは多少逸脱した面もあった事は否めませんが、



結果的には、約600名程の来場者がお見えになり予想以上に盛り上がり、多くの一般の方々や、小中高生の子供達にロータリーの存在をアピールすることが出来たことに加え、社会奉仕と青少年奉仕を兼ねることもできた新たな形のIMを開催することができたものと思っております。ご協力くださった多くの会員に心より感謝いたします。

◆上伊那グループIM・会員セミナー 3/9

IM実行委員長 増澤 良雄（駒ヶ根RC）

3月9日（日）駒ヶ根RCをホストに上伊那5RCのIMが行われました。

「ロータリーの価値を地域と次世代に伝えよう」をメインに、「**明るい未来を会員拡大で築きましょう！**」をサブタイトルとして開催しました。

講演会は「妻のトリセツ」などの著書で有名な地元飯島町ご出身の黒川伊保子氏をお迎えし、「**思春期のトリセツ**」を演題に一般公開で開催しました。この講演は、地域の小学校高学年及び中学生の子を持つ親をメインターゲットとし、市内の小中学校のご協力のもとインターネットにて募集いたしました。早い段階から募集締め切りとなるほどの好評を頂き、300名の会場が満席になりました。難しい子育て時期を迎えた保護者のニーズに合う良い試みとなり、今回の講演会が青少年の健全育成に取り組むロータリーの公共イメージ向上につながればと思います。



主催者を代表した窪田雅則ガバナー補佐のご挨拶の中で、ロータリーの認知度を会場の皆様に問う場面がありました。【ロータリークラブは知ってはいるが、何をしている団体なのかよくわからない】が多くの皆様の実感として得られたことは、駒ヶ根RCにとりまして今後の取り組みに向けての参考となりました。

会場をJAアイパルへ移しての会員セミナーでは、伊藤パストガバナーより会員拡大に向けての心構え、財団への寄付や衛生クラブの設立方法などご享受頂きました。この時点から白鳥敬日瑚ガバナーが下伊那グループのIMから駆けつけてくださり、会場を大いに盛り上げて頂きました。心より感謝申し上げます。



アトラクションとして駒ヶ根RCが支援している市立南小学校の金管バンドによる演奏、続いての懇親会、次期ガバナー補佐のご紹介、次期ホストクラブの挨拶と盛大に開催することができました。関係各位の皆様にご挨拶申し上げます。

クラブのご紹介／ロータリー財団・米山記念奨学金への寄付／新入会員のご紹介

クラブのご紹介

上伊那グループ

辰野ロータリークラブ会長 増沢 弘久

辰野町は伊那谷の最北端に位置し、人口約20,000人の小さな町です。

この町で辰野ロータリークラブは、昭和38年12月25日に、県内11番目のクラブとして創立いたしました。当クラブは、創立以来継続して地域に根差した活動を行っており、ゴミゼロ運動をはじめとする社会奉仕活動、ボーイスカウト、小学生駅伝大会への助成など、青少年に関する奉仕活動、また、辰野町はホテル

の名所、日本の中心地として有名であり、ロータリー財団の補助金を使った観光促進事業にも積極的に取り組んでいます。本年度は、楽しいクラブ作りを最重点目標として活動しており、その一つが、先日行った長崎県の対馬を経由した韓国への親睦旅行、企業見学です。会員一同たいへん有意義な時間を共有でき、一生記憶に残る思い出ができました。

ロータリー財団・米山記念奨学金への寄付



上田六文銭RC
にしざわ ひでお
西澤 尚夫
米山功労者
メジャードナー 23回



須坂五岳RC
かみざわ ひろあき
上沢 広光
メジャードナー
50,000ドル



長野北東RC
みやがわ しげのり
宮川 滋彦
米山功労者
マルチプル 2回



松本東RC
まきの とおる
眞峯 透
MPHF 2回



松本南RC
あがた まさひさ
縣 正長
MPHF 4回



松本南RC
いのう ひろき
一ノ瀬弘紀
MPHF 1回



松本南RC
おくざわ のぶお
奥澤 信夫
米山功労者
マルチプル 3回



松本南RC
いかわい たかし
小岩井 高
MPHF 3回
米山功労者
マルチプル 9回



松本南RC
こばやし たみや
小林 磨史
MPHF 4回
米山功労者
マルチプル 2回



松本南RC
やがさき いちろう
矢ヶ崎啓一郎
米山功労者
メジャードナー 25回



塩尻RC
つづく ふみお
都筑 文男
米山功労者
メジャードナー 17回



辰野RC
おおもり しゅんじ
大森 尚人
MPHF 2回



辰野RC
こまつ やうたろう
小松洋太郎
PHF



飯田南RC
なかにし やすお
中島 康夫
メジャードナー
18,000ドル



新入会員のご紹介



上田東RC
ふなみ てつや
舟見 哲也
バス事業



長野RC
たべい せいし
田部井 悟
ゴルフ場事業



岡谷RC
こばやし ひろし
小林 弘
通信装置製造



RID2600
Web Portal



月信 4月号
電子ブック版

国際ロータリー第2600地区事務所

〒390-0811 松本市中央1-23-1 松本商工会館4F
TEL 0263-38-0800 FAX 0263-38-0801 E-mail : info@rid2600jp.org

白鳥敬日瑚ガバナークラブ事務所(佐久コスモスRC内)

〒385-0051 佐久市中込3-19-6 佐久グランドホテル内
TEL 0267-63-7878 FAX 0267-63-7879 E-mail : mail@sakucosmos-rc.jp